



pisa 型の力をもった教師が、 pisa 型の力を子供に培うことができる

研修担当理事 伊藤 充

pisa 型読解力に重点をおいた県小教研と文部科学省の二つのテストが実施されました。各学校では、pisa 型読解力の育成を目指した取組が進んでいると聞いています。それをサポートするため、県小教研は「研修の手引き」を、文部科学省は「解説資料」を作成・配布しました。ぜひ、授業研究などに役立ててほしいと思います。

しかし、pisa 型読解力の授業研究を始める前に、私は次の4つをすることを提案します。

- 1 県小教研や文部科学省のテストを自分で解いて、採点してみる。
- 2 県小教研「研修の手引き」や文部科学省「解説資料」をもとに、二つのテストを分析してみる。
- 3 自分で pisa 型の問題を各单元一つずつ作ってみる。
- 4 自分で作った pisa 型の問題を子供に解かせて、自分で採点してみる。

1～4のプロセスが、教師自身に pisa 型の力＝「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」を培う構造になっています。

pisa 型の力をもった教師こそが、pisa 型の力を子供に培うことができるのです。

平成19年度新潟県小学校教育研究会役員

平成19年度役員の方々は、次のとおりです。

会 長	村山 信一 (上越・大手町小)	理 事	内藤 守 (上越・大町小)
副会長	橋本 定男 (新潟・鏡淵小)	〃	古澤 正 (上越・南本町小)
〃	高橋 幸雄 (長岡・阪之上小)	〃	伊藤 充 (新潟・新潟小)
理 事	伊藤 順治 (新潟・御免町小)	〃	本多 博行 (新潟・新津第一小)
〃	赤塚 一 (新潟・燕東小)	〃	清水 久子 (新潟・小林小)
〃	小林 敬明 (新潟・山の下小)	〃	南雲 茂 (長岡・表町小)
〃	廣田 文雄 (柏崎・比角小)	監 査	恩田 正身 (糸魚川・糸魚川小)
〃	古塩 実 (長岡・希望が丘小)	〃	谷内 一也 (魚沼・堀之内小)
〃	小松 隆 (上越・高志小)	〃	坂井 潔 (新潟・小針小)
〃	瀧沢 則夫 (十日町・十日町小)	幹 事	井上 幸直 (五泉・五泉小)
〃	笹川 恵美子 (上越・春日小)	〃	後藤 清代 (上越・春日新田小)
〃	山田 裕信 (小千谷・小千谷小)	〃	毛利 隆二 (阿賀野・京ヶ瀬小)

：6月の第1回評議員会において承認されました。